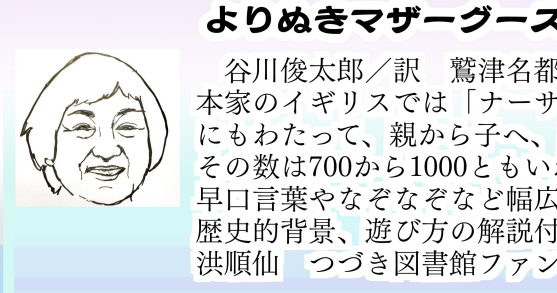


てんごく
 新美南吉／詩 長野ヒデ子／絵 のら書店
 南吉が手帳に書いていて発表はしていません。この時代は戦地に子どもを送り出す眷の母となれと言われていた時代、幼い日に母を亡くした南吉は、あるがままの母でいてほしい。おんぶされた子は、どの子も母の背中は天国だと。実にいい詩です。沢山の人に知ってほしく絵本に。おんぶっていいわよ！
 長野ヒデ子 つづき図書館ファン倶楽部



ルリユールおじさん

いせひでこ／著 講談社
 大切にしていた図鑑が壊れてしまった少女は、ルリユールおじさんに出会った。おじさんは、先代から続く製本職人だった。舞台となる美しいパリの街並みは、優しい色あいで描かれている。力強いタッチで描かれている職人の手には、誇りが表れているようだ。少女とおじさんの心の交流が温かい。本の命は何度でも蘇る感動の一冊。
 杉原陽子 つづき図書館ファン倶楽部とTDO



よりぬきマザーグース

谷川俊太郎／訳 鷺津名都江／編 岩波書店
 本家のイギリスでは「ナーサリー・ライム」と呼ばれ、古いものは何百年にもわたって、親から子へ、あるいは子供たちの間で伝わってきました。その数は700から1000ともいわれています。昔話の性格をもった詩や早口言葉やなぞなぞなど幅広い50編、巻末には隠された意味合い、歴史的背景、遊び方の解説付き！ここが一番見所読みどころ。
 洪順仙 つづき図書館ファン倶楽部とTDO

はねをならべて 2わのクオノトリのきずなのはなし



キャレン・レヴィス／作 チャールズ・サントソ／絵
 いわじょう よしひと／訳 BL出版
 クオノトリのクレペタンとマレナは仲の良いカップル。ところがある日、マレナが大けがを負ってしまい飛び立つことができなくなってしまう。クレペタンはマレナを残して旅立たなくてはならない。そしてクレペタンは必ず帰還するという愛のきずなが19年間続き、66羽の子どもにも恵まれた夫婦愛に心をうたれる。
 田中肇 つづき図書館ファン倶楽部



てんてんきょうだい

山田慶太／文 田口麻由／絵 ポプラ社
 言葉に「てんてん」をつけるのが大好きな「てんてんきょうだい」は、今日も「てんてん」をつけていきます。まずは「か」、弟は失敗して「てんてん」のつかない言葉を選んだりしますが、兄弟仲良く「てんてん」をつけて「でんでんだのじい！」濁音での兄弟の話し言葉や、濁点に足のついた姿がなんとも可愛いです。
 吉村陽子 つづき図書館ファン倶楽部とTDO



流

東山彰良／著 講談社
 直木賞受賞作品。1975年の台湾が舞台の青春小説です。主人公の祖父の死をめぐるミステリーが軸ですが、運命に導かれた恋と友情、そして家族、歴史背景、暴力と混沌に溢れた大ボリューム作品で、最後まで疾走するような読み応えです。10代の懊悩と焦燥における独特な言い回しが軽妙で引き込まれます。
 森田紗弥佳 つづき図書館ファン倶楽部



戦争と平和 子どもと読みたい絵本ガイド

草谷桂子／著 子どもの未来社
 いま 茶の間でテレビを見ていると、平和な日本では考えられない戦争の光景が、世界中に広がっていることが分かります。平和ってどんなこと？戦争ってどんなこと？子どもが考えるきっかけになる絵本を200冊、テーマ別に紹介してくれます。人類の歴史に戦争が無くなり平和になるには？絵本を読みましょう。
 福富洋一郎 つづき図書館ファン倶楽部とTDO



本はわたしの日々の傍らに

都筑図書館職員
 つづき図書館ファン倶楽部
 つづきっこ読書応援団 (TDO)
 みんなのイチ推しの本です



宙の名前

林完次／写真・文 角川書店
 新プロジェクトXが始まった。主題歌にちなんで天空の星や月を写真と言葉で綴ったちょっと不思議な本を紹介します。折にふれ手に取ると宇宙をプチ旅行しているような感覚になったり、子どもの頃見た星空と故郷を懐かしく思いださせてくれたりします。小ぶりな本ですが中身は豊か、参考文献・索引も充実しています。
 若杉隆志 つづき図書館ファン倶楽部



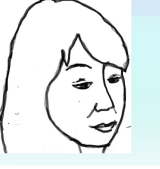
ボクの音楽武者修行

小澤征爾／著 新潮社
 24才で単身で貨物船でヨーロッパにわたり、カラヤンに認められ強運をつかんでいくエッセイ。闊達な著者の知りたいと思う気持ちが、ドンドン人や運をつかんでいきます。若々しく力強く進むその姿勢に、自分も1歩まえに進みたくなる本です。
 三田律子 つづき図書館ファン倶楽部とTDO



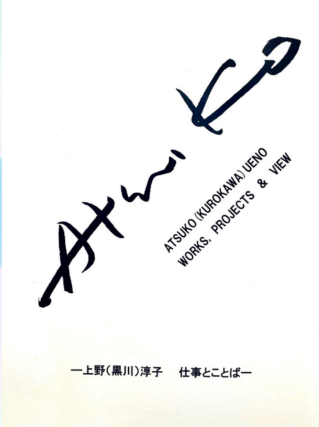
わたしのすきなもの

福岡伸一／著 婦人之友社
 この本は、福岡氏が連載した『婦人之友』誌から「小さな至福」「自然の神秘」など章立てて編集したもの。福岡氏の母は『婦人之友』の愛読者だった。文章のそここから幼少時代の暮らしぶりが伝わってくる。この母にしてこの子あり、福岡氏の優れた人物像はかく生まれた。バージニア・バートン著『せいめいのれきし』の対談もある。
 中村葉子 つづき図書館ファン倶楽部とTDO



わたしとあそんで

マリー・ホール・エッツ／著 よだじゅんいち／訳 福音館書店
 「わたし」ははらっぱでバッタやかえるやいろいろな生き物と出会い、「あそびましょ」と近寄るのですが、みんな逃げて行ってしまいます。だあれも遊んでくれないので、石の上に静かに動かないで座っていると……。どのページもおひさまが微笑みながら見守っています。人も大自然の一員なのだと思います1冊です。
 森由紀 つづき図書館ファン倶楽部とTDO



ATSUKO—仕事とことば—

上野泰／著 UENODESIGN
 その土地の記憶や歴史を、街の通りや集合住宅の外部空間に反映させる、日本では先駆的だった環境色彩研究所(1975年～1998年)の上野(黒川)淳子さん。室生犀星の詩の一字を住居棟のサインにしたり、都筑区の2つの団地には縄文をデザインした広場があります。妻の生前の仕事をもとめた上野泰氏哀惜の書。都筑図書館「郷土」の棚にあります。
 江幡千代子 つづき図書館ファン倶楽部とTDO